

分科会評価報告書（令和3年度決算）

（文教厚生分科会 No.1）

(所管課, 事業コード)	(社会教育課 2191)		
事業名	文化財保護経費	※P. 622	

評 価	A	<input checked="" type="radio"/> A 十分評価できる	B やや評価できる C あまり評価できない	D 全く評価できない
-----	---	--	--------------------------	------------

【評価に至った理由】

- ・鹿嶋市は、歴史あるまちにしては文化財の保護経費に係る予算が少ない。鹿島神宮が歴史を繋いできたことで、文化財は文化財として残ってきた経緯がある。
- ・除草作業についても、市民への影響が少なくなるように適切な除草・樹木管理を行っている。
- ・ミニ博物館コシカ及び旧平井幼稚園を活用するなど、限られた予算の中で、良く管理できている。限られた広さの中で、年二回の展示物の入れ替えもしながら鹿島の歴史の発信に力を入れており十分評価できる。

今後の方向性	3	1 拡充	2 継続	<input checked="" type="radio"/> 3 改善	4 縮小	5 休止	6 廃止
--------	---	------	------	---------------------------------------	------	------	------

【今後の取り組み方と提言】

市内に所在する、各種文化財を適切に保存管理出来るよう、土器、古文書など、歴史を継承するうえで何を原型として残すのかどうかの選別を早急に必要な必要がある。さらに、デジタルアーカイブ化を研究し、今後の方向性を決めていかなければならない。優れた鹿島の歴史を保存するには、十分な予算をとって、適切な保存状態の確立が必要である。

今年度、デジタルアーカイブ化に向けた調査・研究を行い、早急に出来ていない課題を整理した上で、しっかりと対応し予算に反映させていく形でやっていただきたい。